



沖縄総合事務局

記者発表資料
発表後の取扱自由

平成27年12月14日
南部国道事務所

な は とみぐすくひがし 那覇空港自動車道 豊見城東道路の全線4車線開通の効果 ～全線4車線開通により通行の安全性が大幅に向上～

◆【開通による主な効果】

那覇空港自動車道 豊見城東道路の全線4車線開通により、交通事故等による全面通行止めが解消。
また、全線4車線開通により対面通行が解消し安全性が向上。

【安全性の向上】

- ・全線4車線開通に伴い、交通事故等による全面通行止めが解消。
- ・全線4車線開通により、対面通行が解消し安全性が向上。

【交通円滑化】

- ・本線の混雑が緩和し、西原JCT～豊見城・名嘉地IC間の所要時間が約3割(約4分)短縮。
- ・全線4車線開通後、西原JCT～豊見城・名嘉地IC間を10分以内で通行可能になり速達性、定時性が向上。

【観光振興】

- ・那覇空港と本島内の観光地のアクセス性が向上。所要時間が那覇空港～許田ICまで豊見城東道路暫定2車線開通時(平成20年時)と比較して、約1割(約7分)短縮。
- ・所要時間の短縮により、北部地域での観光周遊性が向上するなど地域経済の好循環に貢献。

◆【事業概要】

豊見城東道路は、那覇空港と沖縄自動車道を結ぶ一般国道506号那覇空港自動車道の一部を形成しており、豊見城市名嘉地から南風原町山川までの延長6.2kmの自動車専用道路です。

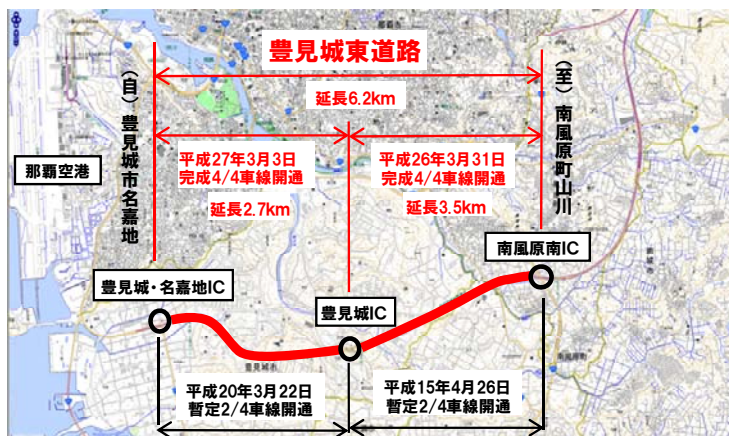
本島北部及び中南部から那覇空港までの、定時性、速達性を確保するとともに都市部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図ることを目的とする道路です。

◆【事業の経過】

- 平成15年4月26日
豊見城IC～南風原南IC間
2車線暫定開通
- 平成20年3月22日
豊見城・名嘉地IC～豊見城IC間
2車線暫定開通(全線暫定2車線開通)
- 平成26年3月31日
豊見城IC～南風原南IC間
4車線開通

○平成27年3月3日
豊見城・名嘉地IC～豊見城IC間
4車線開通(全線4車線開通)

延長	6.2km
設計速度	80km/h
道路規格	第1種第3級

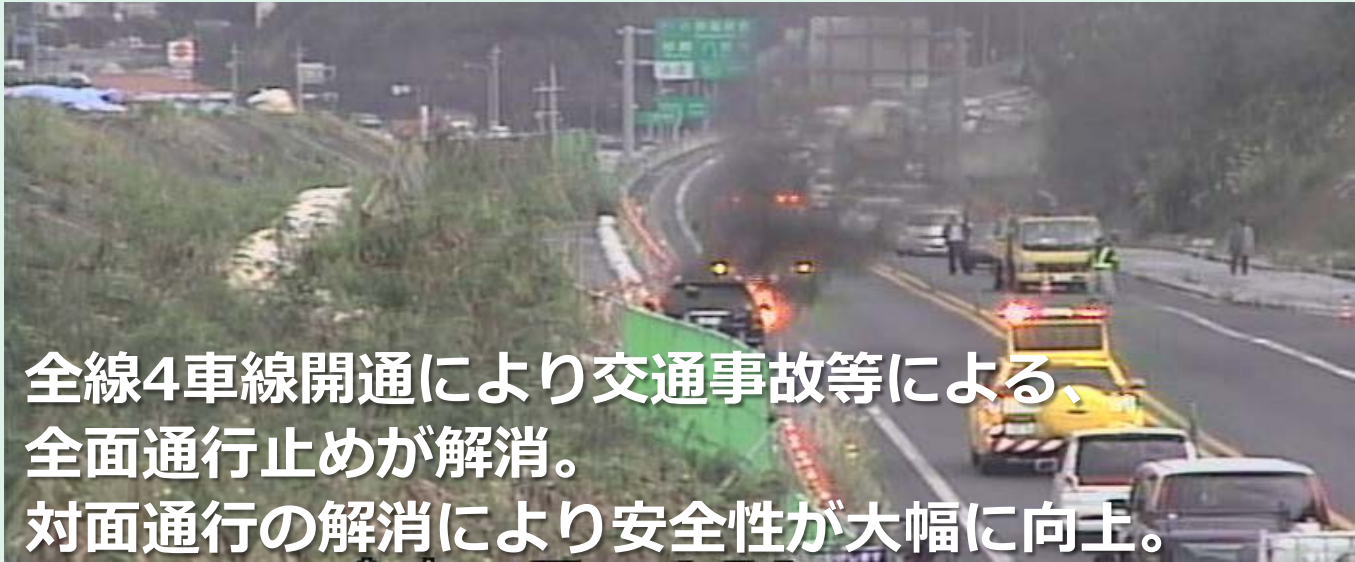


【問い合わせ先】

沖縄総合事務局 南部国道事務所 副 所 長 うえはら ひろふみ 啓文(内線204)
調査第一課長 あらかき やすあき 新垣 康明(内線451)
電 話:098-861-2336(代表)
FAX:098-861-2454

ホームページ:<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>

豊見城東道路 全線開通によるストック効果



全線4車線開通により交通事故等による、
全面通行止めが解消。
対面通行の解消により安全性が大幅に向上。

- 暫定2車線開通時は、通行車両の事故や故障により、全面通行止めが発生したが、全線4車線開通後、**全面通行止めは解消**。（表1、図1、写真1）
- 暫定2車線開通時は、対向車線への逸脱等が発生する恐れがあったが、4車線開通により対面通行が解消し**安全性が大幅に向上**。（図2、写真2）

▼写真1 全面通行止めの状況（表1、③H23.1.4）

全線4車線開通前（暫定2車線時）の通行止め状況

▼表1 全線4車線開通前（暫定2車線時）の通行止め実績

No	年月日	通行止め時間	事象	通行止め区間
①	H21.5.5 (火)	17:10～ 18:40	車両事故（単独） [トンネル内]	南風原南IC ～名嘉地IC
②	H21.9.14 (月)	21:40～ 22:49	車両故障による火災 [トンネル内]	南風原南IC ～名嘉地IC
③	H23.1.4 (火)	9:30～ 10:32	車両故障による火災 [金良（下り）]	南風原南IC ～名嘉地IC
④	H25.1.28 (月)	8:15～ 9:25	車両事故 [トンネル内]	名嘉地IC ～豊見城IC

出典：南部国道事務所資料

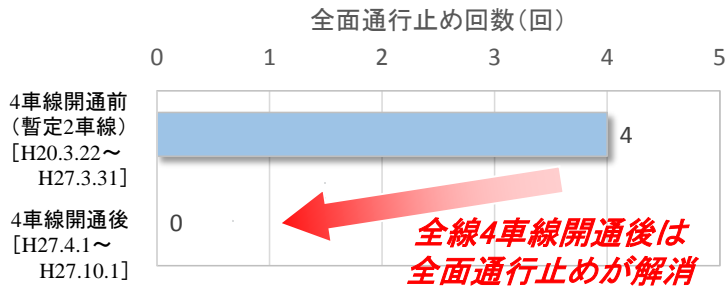


▼写真2 道路の開通形態（豊見城市上田付近）



全線4車線開通前後の通行止め実績

▼図1 全線4車線開通前後の通行止め実績



▼図2 利用者の声



豊見城東道路は片側1車線時は遅い車があると危険であったが、現在は2車線になりスムーズで安全性が向上している。
（平成27年8月24日）

豊見城東道路 全線開通によるストック効果



**全線4車線開通に伴い本線の混雑が緩和。
速達性・定時性が向上。**

○豊見城東道路のH26・27年の4車線開通により**混雑が緩和**（図3～5、写真3）

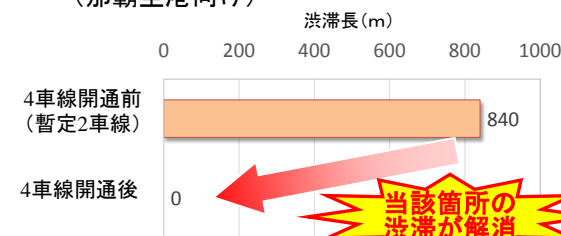
○全線4車線開通により、豊見城・名嘉地IC～西原JCT間を約10分以内で通行することが可能となり、**速達性・定時性が向上**。（図6）



豊見城東道路の交通状況の変化

▼図3 南風原南ICにおける渋滞の延長の変化（那覇空港向け）

▼写真3 南風原南ICにおける交通状況の変化



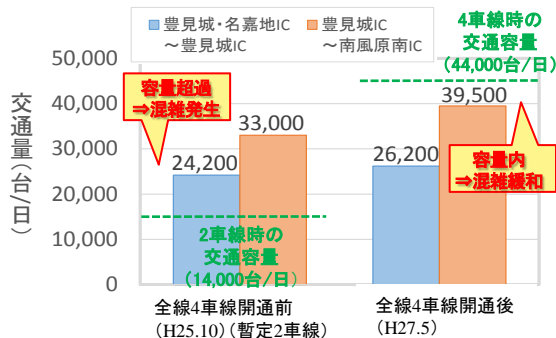
撮影日：平成25年12月4日（水）

撮影日：平成27年10月7日（水）

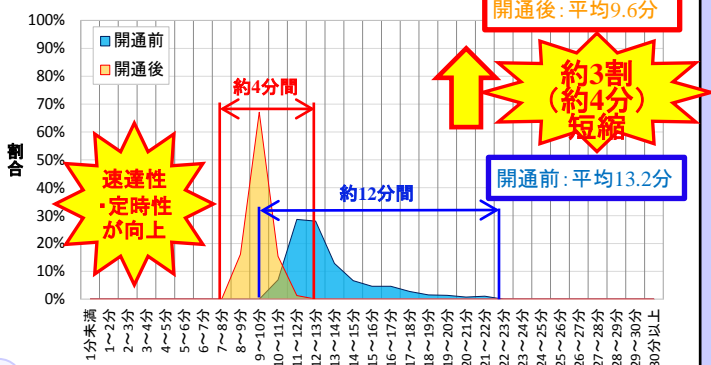
出典：渋滞の定義を20km/hとし、旅行速度調査より算出[18時台の比較]
調査日：4車線開通前[H25.11.27(水)]、4車線開通後[H27.5.20(水)]

▼図4 全線4車線開通前後の交通量の変化

▼図6 豊見城東道路の全線4車線開通による西原JCTから豊見城・名嘉地ICまでの所要時間の変化



出典：(交通量)交通量調査結果・CCTV画像よりの読取[平日]
(交通容量)道路構造令の第1種第3級的设计基準交通量



出典：民間プローブデータ(4車線開通前：平成25年4月～7月、4車線開通後：平成27年4月～7月)

▼図5 利用者の声



豊見城東道路は全線4車線開通後、豊見城ICの混雑が解消され、非常に走りやすくなった印象がある。
(平成27年9月4日)

沖縄アウトレット
モールあしびなー

豊見城東道路 全線開通によるストック効果

空港と観光地のアクセス性が向上。
観光振興による地域経済の好循環に貢献。

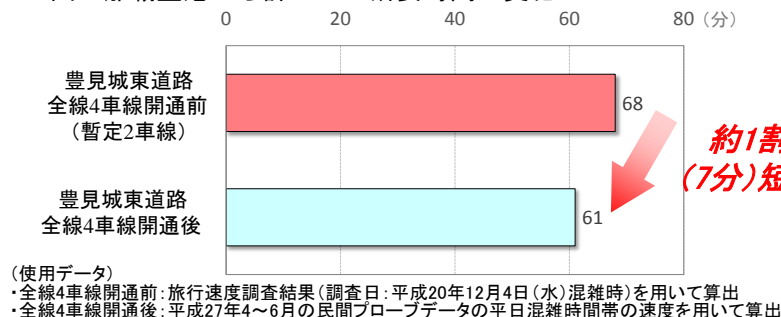
美ら海水族館(海洋博公園)

古宇利大橋(古宇利島)・OCVB

- 豊見城東道路の全線4車線開通により、那覇空港から許田ICまでの所要時間が約1割(約7分)短縮し、那覇空港と本島内の観光地のアクセス性が向上。(図7・8)
- 所要時間の短縮により、北部地域での観光周遊性が向上するなど、地域経済の好循環に貢献。(図9・10)

空港～北部地域への移動時間の短縮

▼図7 那覇空港から許田ICの所要時間の変化



約1割
(7分)短縮

▼図8 利用者の声



バス会社

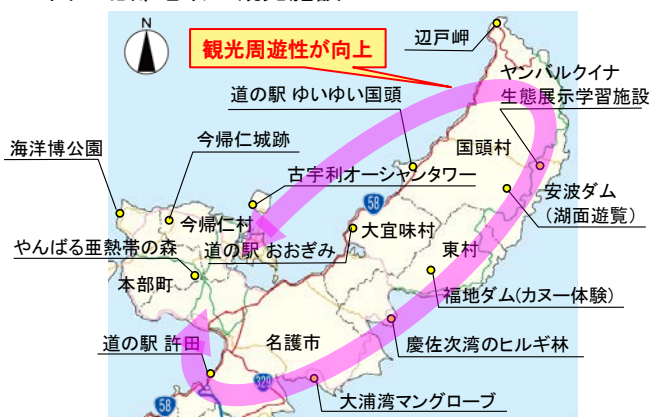
那覇空港から沖縄自動車道へのアクセスが良くなりました。また、定期観光バスのルートを、那覇空港自動車道を使用するルートに変更しました。(平成27年10月17日)



移動ルート

観光産業への影響

▼図9 北部地域の観光施設



▼図10 利用者の声



タクシー会社

空港への送迎時間が読めるので、観光地の滞在時間にゆとりができました。(平成26年10月)



レンタカー会社

豊見城東道路が全線4車線開通し、渋滞が緩和したことで利用客の返却遅れが減少しました。(平成27年8月20日)